

ぜんしゅうきょう

2008
JULY

7月



役員改選で新体制が船出



がっちりと握手を交わす小堀代表理事（左）と安田前理事長（右）



代表理事に選出され挨拶する小堀賢一氏



第21回通常総会で小堀賢一氏を第4代理事長（代表理事）に選出

5月20日に名古屋で開催された第21回通常総会で、役員の任期満了に伴う選挙が定款30条に基づいて実施された。その結果、第4代の理事長（今回の総会の定款変更で正式呼称は「代表理事」に変更）に小堀賢一氏（前副理事長）が選出された。

役員選挙は従来どおり指名推薦の形で提案され、総会で承認。議長が選考委員を指名し、総会を暫時休憩し、別室で選挙が行われた。選挙の結果、49名の理事と3名の監事を選出。これを総会で承認した。これを受け、選出された理事は第1回の理事会を開催し、代表理事の選出に入り、

全員一致で小堀氏を選出した。万雷の拍手で迎えられた小堀氏は、代表理事となった初めての挨拶で次のように所信を表明した。

「全宗協は協同組合になって20年になる。安田理事長の8年間だけでもすごい革新されてきたと思うが、基本的にはこの路線を踏襲しながら運営させていただきたいと考えている。ピーク時にはお仏壇の販売件数は年間50万基程度、数珠や法衣などまで裾野を広げると宗教用具の需要は5千億円といわれた時代もあった。しかし、今はこれが七掛けくらいになっているのではないかと。この減少には、宗教や信

仰に対する考え方、あるいは家族構成の変化等が関係していると思われる。それを覆すことは我々にはできないかもしれない。しかし、少しでも挑戦していきたいと思っている。もうひとつは、全宗協の組合員に対していかにしてメリットのある事業を進めていくか。それができなければ会員増強にも結びつかない。そうした点で夢と希望が持てる事業を推進していきたい」

この代表理事の言葉どおり、業界を取り巻く環境は厳しい。この代表理事の後見に当たることになった。新理事、監事の一覧は別掲の通り。

新理事・監事（敬称略）

代表理事	小堀賢一
副理事長	◎井上芳徳（正常化委員会担当）、◎保志正之（事業委員会・会員増強委員会担当、会員増強委員会委員長）、◎内田長祐（総務委員会・広報委員会担当）
専務理事	西春貞男
常任理事	八田守立、前田平成、◎池田典明、菱田孝行、◎橋本晃一、◎佐倉弘、濱田博邦、◎高山正（正常化委員会委員長）、◎藤本晃史、◎井ノ口敬三
理事	奥山英俊、小野隆市、安田松慶（相談役）、滝田雅敏、坂田晴義（広報委員会委員長）、辻幸明、山田宗宏、川本恭央、笠原他喜雄、廣川勝彦、木本隆久、濱島賢祐、小長井由朗（総務委員会委員長）、三枝紀元、澤忠知、長坂忠明、伊藤博昭、岸本光史、神戸良司、吉田光宏、山中誠人、宮岸隆、中造和夫、中田信浩、三村博昭、田戸孝雄、今浦公博、上林良得、今山秀人、森正（事業委員会委員長）、塚本弘喜、白川十郎、東純一、江頭直行
*◎は地区協議会会長	
監事	福井明夫、本保実、山本晴彦

CONTENTS

- 2面 第21回通常総会を開催
- 3面 ニューリーダー部が初の通常総会を開催
- 4面 仏事コーディネーター試験を11月12日に実施
「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」に約1万句が集まり、各賞が決定

- 5面 ニューリーダー部が名古屋で研修会を開催
秋の全国研修会の実施が決定
- 6面 第2回海外研修を9月に実施
- 7面 セーフティネット保障を申請／事務局から
- 8面 そよ風／ひろば／NL交差点

第21回通常総会を開催



会場となった
ウエスティンナゴヤキャッスル



総会で挨拶する
安田理事長

全国から集まった大勢の組合員が会場を埋め尽くした



第21回となる通常総会が5月20日、名古屋市ウエスティンナゴヤキャッスルで開催された。総会には全国各地から多くの組合員が参集した。

総会では、まず安田松慶理事長が挨拶。

「これからは新しい力、新しいうねりを作っていくかといふような流れに飲み込まれるか分からないような状況にある。そのときに当たり、私はこの年を持って理事長の職を退き、新しい人に今後の全宗協をゆだねていきたい。そして、ニューパワーが皆様方を必ずやよい方向に導いてくれると確信している」として、新しいリーダーへの期待を寄せると同時に4期8年間に渡る組合員の支援に謝辞を表した。

総会ではその後、安田理事長を議長に選出して議事を進行。平成19年度事業報告が井上副理事長や各委員会の委員長からあり、次いで平成19年度決算報告を西春専務理事が行い、いずれも承認された。これに続き、平成20年度事業計画と同収支予算を一括審議。これも承認された。

さらに、これに続く議案では定款の変更案が示された。今回の変更案では、中小企業協同組合法の一部改正(平成19

年4月1日施行)に伴うものとして、理事長が代表理事であることの明記や総会の開催時期が事業年度終了後2カ月以内から3カ月以内にする。総会招集前に組合員に決算書類などを事前提供すべきこと。総会招集や議決や代理人証の提出に電磁的方法が認められることが記載された。さらに、ニューリーダー部の創設や委員会の条文整理が提案された。

この定款変更案も拍手で承認され、総会最後の議事となる役員選挙へと進行していった。その結果は、一面で詳報した通りで、小堀新体制がスタートすることになった。

こうして総会はずつがなく終了し、組合員は新体制の下での団結を確認した。

なお、次年度の総会は5月20日または21日に福岡県内で開催されることになっている。



受付では旧交を温める光景も見られた

総会終了後に

僧侶でアナウンサーの

川村妙慶氏が講演

演題は

「100倍楽しくなる仕事と人生」



講師を務めた川村妙慶氏

総会に引き続いて開催された講演会では僧侶でアナウンサーの川村妙慶氏が講師を務めた。演題は「100倍楽しくなる仕事と人生」。この講演の中でまず川村氏は「別体同心」という言葉を紹介した。これは、人間は一人ひとり別の体と別の考え方を持っており、このことを認めて歩く方向性をひとつ(同心)にしていこうということだ。

川村氏はさらに宗教という言葉についても解説。宗教とは「教えを宗(おね)とする」ことで、自分の中に肝心要を持つことだとしてその重要性を指摘した。ろうそくは芯がなければ溶けるだけで燃えないが、人間もこれと同じで芯を持つ

ニューリーダー部が初の通常総会を開催

事業方針として「共に学び、共に進む」を確認

親会の全宗協の総会に先立ち、5月20日の午前中にニューリーダー部の初となる通常総会が開催された。総会では始めにニューリーダー部部長の吉田

光宏氏が挨拶。この中で吉田氏は昨年10月に発足した同会がはじめて迎える総会であることに触れ、「今日の総会をスタートラインとしてますます内容のあるニューリーダー部にしていきたいと思うので、皆様のご協力をお願いしたい」と語った。続いて来賓として出



総会で挨拶する吉田部長

席した安田全宗協理事長がスピーチし、「これからの全宗協に皆さん方の若いパワーをぜひ生かしていただきたい」と期待を寄せた。

総会はその後、議事に入り、平成19年度事業報告及び決算案、平成20年度事業計画及び予算案を審議し、いずれも満場一致で可決した。平成20年度の事業計画には業界の実情調査という研究課題が盛り込まれ、同時に30万円の予算も組まれたが、総会での承認を得

て今後は本格的な調査研究に着手することになった。
今後、ニューリーダー部がこうした活動でどのような成果を上げるのか、部員のみならず全宗協の組合員からも大きな期待が集まっている。

総会の翌日はエクスカーションやゴルフでリフレッシュ

会員間の親睦も図る

総会当日は講演会に続いて懇親会を開催。アトラクションなどを楽しむと同時に、旧交を温める機会にもなったようだ。

また、翌日にはオプションとしてエクスカーションとゴルフが開催された。エクスカーションでは徳川美術館などを訪問し、ゴルフは四日市カンツリー倶楽部で開催。家族サービスや会員間の懇親を深める場になり、思い出に残る1日となった。

なお、ゴルフコンペではグロス89・ネット71で今山秀人氏が優勝。2位には河田栄治氏、3位に増田清順氏が入った。



コンペの上位入賞者



ゴルフコンペは四日市カンツリー倶楽部で開催された



エクスカーションで訪れた徳川美術館前のスナップ

て生きることが重要だと述べた。

そして、過去・現在・未来という三世についても分かりやすく解説。人間には二つの癖があるとして、その考え方を示した。一つ目の癖は、5月と聞いて「もう5月か」と思う人が多いということ。こういう人は過去をさかのぼることになり、昔はよかったと思いがちで、つい愚痴が出る。もうひとつの癖(パターン)は5月と聞いて「これから先どうなるだろう」と先のことを考える人だ。こうなると取り越し苦労が多くなる。いずれの場合も肝心な今が抜けており、ここをおろそかにすることになりかねない。今を見て生きていけば、過去の意味を大きく変えることができる。また、未来も見えてくる。三世はつながっており、その中で要となる今を生きることの重要性を川村氏は指摘した。

講演ではさらに仏教に関する教えの解説もあったが、後半では川村氏がお寺の娘として生まれた自らが寺院を継承し、今日に至るまでの半生も紹介した。一時は500件もあった檀家がたった1年間でゼロになったという話や、そこから再び檀家を呼び戻した話など、興味深い講演内容は聴衆を大いにひきつけた。講演会に参加した組合員とその家族にとって、仏教の教えを再確認すると同時に、お寺の実情の一端を知る機会にもなったようだ。

仏事コーディネーター試験を11月12日に実施

5月20日より申し込み受付が始まる

平成20年の仏事コーディネーター試験は11月12日(火)に、例年通り東京と大阪の2会場で実施される。その申し込みの受付が通常総会が開かれた5月20日から始まった。申し込みの期限は8月31日まで(消印有効)となっている。

受験希望者は仏事コーディネーター資格審査協会に受験申請書一式を請求。講習料及び受験手数料を本人名で指定口座に振り込み、各種申請書に必要事項を記入して指定の位置に「払込受領証」を張り付け、同封の返信用封筒を用いて簡易書留にて送付する。その後、

仏事コーディネーター資格審査協会より受験者に直接「講習参加票および受験票」が送付される。なお、詳細は仏事コーディネーター資格審査協会(03-3665-1610)まで。

これまで4回開催された試験では、延べ1,333人が受験、1,246人が合格している。今年も多くの組合員の事業所の従業員が受験し、新たな仏事コーディネーターが誕生することが期待されている。

なお、第1回(平成16年度)の合格者の資格更新は平成21年となっている。

仏事コーディネーター試験は昨年も東京と大阪の2会場で開かれた



「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」に 約1万句が集まり、各賞が決定

7月には句集を発刊して組合員に提供

「第1回全国おぶつだん俳句コンテスト」の募集は2月から始まり、4月末で締め切られた。その結果、応募者数は約7,000人、寄せられた作品の数は約1万句に達した。

選考の結果、以下の作品(応募者)に各賞が贈られた。

金賞(1点・副賞10万円)

「次の世もわが子や供ひ春いちご」林亨子(岐阜県関市)

銀賞(2点・副賞5万円)

「孟蘭盆や追分好きの父なりし」水野幸四郎(東京都新宿区)

「過去帳に写す法名花は葉に」青野迦葉(鹿児島県鹿児島市)

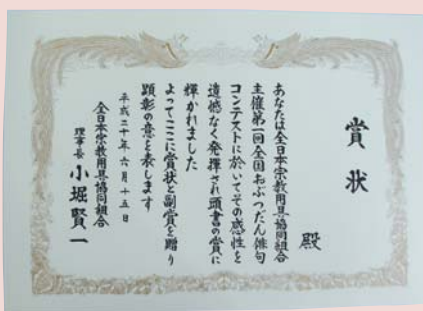
佳作(5点・副賞1万円)

渡辺啓司(兵庫県神戸市)、中奥津耶(青森県八戸市)、中尾多津美(兵庫県淡路市)、関口美代子(東京都新宿区)、奥山朗(福島県会津若松市)

このほか、応募者の中から抽選で100名に図書カード(千円)がプレゼントされた。

また、これらの優秀作を収録した句集を7月に発行する予定で、組合員の参加企業(全員参加が原則)の社名を裏表紙に印刷し、100万円で百冊を提供する。

このコンテストは消費者から投句してもらうという対話型の啓



蒙活動で、おぶつだんのイメージを向上し、市場に浸透させる目的で企画された。ポスターを作成して寺院など貼ってもらうなどの活動のほか、専用のウェブサイトも開設して直接投句できる仕組みも作ってきた。また、組合員の活動の結果、地方新聞に記事が掲載されるなどの成果にも結びつき、これが多くの投句を集める結果にもつながった。

ニューリーダー部が名古屋で研修会を開催

仏壇仏具業界の現状把握調査に着手することを決定



第三講の意見交換会の模様

「仏壇・仏具業界にマーケティング思考が必要な理由」と題して講演。マーケティングの基本構造を解説すると同時に、仏壇仏具業界に引き寄せてマーケティング思考の重要性を説いた。

この石倉氏の講演を受けた第三講では、参加者全員による意見交換会が開かれた。この中でNL部部長の吉田氏は「まず今いる場所を再確認して、どこに行くべきかの方向性を導き出すことが重要」と指摘した。

意見交換会には講師を務めた石倉氏も参加し、業界の成長性を知るためにマーケットサイズを測ることが重要と指摘。広告業界の例を引きながら、「大手企業にどのくらい伸びているか聞いてひとつのベースを基準にして積み上げていった。統計があると努力目標になる」とアドバイスした。

これを受けてNL部副部長の浅野秀浩氏が「業界の統計で唯一存在するのは商業統計」として、商業統計の市場規模2,577億円という数字をひとつの仮説として、アンケートによる裏打ち調査の実施を提案した。これを受けた議論の結果、NL部として今後、業界の現状調査を実施することを決定。NL部の予算として今期計上されている研究費30万円をこの調査に使うことで一致した。

この方針は前述したとおり、研修会の翌日に開かれたNL部の通常総会でも了承され、正式決定した。この結果、今年度のNL部の研究テーマは業界の現状把握調査に決定した。詳細については今後煮詰めていくことになりそうだが、業界の若いパワーの活動には今後大きな期待がかかることになりそうだ。

秋の全国研修会の実施が決定

10月16～17日に東京で開催

秋の全国研修会の実施が決まった。日程は10月16～17日の2日間で、東京・五反田のゆうポート東京を主会場に開催される。

今回の研修のテーマは「シリーズ業界の危機―仏壇編―」で、基調講演やパネルディスカッションなどを予定している。また、曹洞宗大本山

總持寺の訪問なども決定しており、今年度から研修事業を所管する総務委員会が計画を煮詰めている。

各委員会からの報告

今年度も活発な議論と活動を展開

通常総会に先立ち、各委員会が開催され、その内容が理事会で報告された。まず、正常化委員会では、懸案となっていた委員会名の変更の件が話し合われた。その結果、従来の役割と同時に、消費者からの声に耳を傾け、組合員が全宗協のブランドイメージを損なうような商品営業をしないよう、監視及び対策をかねる委員会名を提案することにした。具体的な名称についてもいくつかの案が挙がったが、最終決定は次回以降に持ち越した。また、独占禁止法改正については、森顧問弁護士に相談の上、必要と思われる内容を会員に報告することにした。

事業委員会と総務委員会では全宗協のホームページが必ずしも最新情報を伝えきれていないことが課題として取り上げられた。これについては理事会でも取り上げられ、早急に検討することが確認された。

広報委員会では「第1回おぶつだん俳句コンテスト」の実施状況などが報告され、今後の句集の作成についても確認した。また、これとは別に、3月27日に全国で仏壇のお焚き上げイベントを実施することなども提案された。

会員増強プロジェクトの推進を理事会で承認

500名を目標にパンフレットの更新などツールも整備



保志正之・会員増強委員会委員長と会員増強委員会の模様



通常総会に先立ち、同日に開催された理事会で、会員増強プロジェクトの推進が承認された。昨年度の新規加入者は18名、退会者は3名で、15名の純増となったが、今年度は500名という目標を掲げ、継続的な活動を続けていくことになった。

この500名という数字は業界のおよそ1割を組織化することを意味し、これが実現すれば経済産業省からより大きな支援も受けられる。また、予算の面でもプラスになることからさまざまな事業ができる。こうしたことから、プロジェクトを進める会員増強委員会では具体策をまとめ、これを強力に推進していく。

第2回海外研修を9月に実施

バリ島で仏壇工場などを視察

第2回となる海外研修が9月にインドネシアのバリ島とジャワ島で開催される。日程は9月9日から13日の5日間で、9日の夕方に成田空港と関西空港をそれぞれ出発し、バリ島に到着。翌10日は丸喜様の仏壇工場を視察する。その日はバリ島に宿泊し、11日はジャワ島に移動して、ボロブドゥール遺跡を見学。12日にはボロブドゥールと並ぶ世界遺産であるランバナンも訪問する。その

後、バリ島に戻り、帰路へ。13日の朝に成田と関空に到着する。

費用は1人当たり25万円弱。組合員とその家族を対象に実施される。申し込み・問い合わせは下記まで。

<申し込み・問合せ先>

(株)JTB中部金沢支店 担当：営業課 中村美紀
TEL 076-264-7077 FAX 076-262-6156

第2回海外研修日程表

	① 9月9日(火)	② 9月10日(水)	③ 9月11日(木)	④ 9月12日(金)	⑤ 9月13日(土)
発着時間	16:10(予定) 22:25		12:50 13:00	13:35 15:50 23:55(予定)	07:55
発着地	成田空港発 デンパサール着	バリ島	バリ島 ジョグジャカルタ	ジョグジャカルタ バリ島 デンパサール	成田空港着
交通機関	JL729 専用車	専用車	GA253 専用車	GA252 専用車 JL720	
スケジュール	空路、バリ島へ着後、ホテルへ【バリ島泊／グランドハイアットバリ】	■工場視察 丸喜様の工場を視察いたします。 ■デンパサールとヒンドゥー寺院観光 バリ州の州都である行政や経済の中心地・デンパサール官庁街、バリ絵画や民芸品を集めた●アートセンター、●金銀細工工房、●パティック工房(インドネシアのジャワ島付近で作られる文様染め)、バリで2番目に大きな◎タマン・アユン寺院、海の寺院◎タナロット寺院 バリ舞踏の中でも最もポピュラーな踊りのひとつであるケチャクダンスを鑑賞 【バリ島泊／グランドハイアットバリ】	■ジャワ島 ボロブドゥール遺跡観光 ●世界遺産ボロブドゥールを訪れます。 【ジョグジャカルタ泊／ハイアットトリージェンシー】	■午前中：ジョグジャカルタ観光 ジョグジャカルタ市内観光と世界最大級のヒンズー教寺院●世界遺産ランバナンを訪れます。 ■午後：バリ島にて夕食 ホテル内にてさよならパーティ マッサージもどうぞ *空路へ【機中泊】	

セーフティネット保障（不況業種指定）を申請

業界全体の活性化に尽力

仏壇のメーカーや卸では原材料の値上げや入手難、販売価格の下落などから厳しい経営を迫られているが、こうしたことから会員企業の間からセーフティネット（不況業種指定）の申請を求める声が上がリ、全国組織の業界団体として全宗協ではこの申請を先ごろ経済産業省に対して行った。

セーフティネットとは、信用保証協会が通常の保証限度額とは別枠で保証を行う制度で、申請が認められると資

金調達が容易になる。

具体的には中小企業信用保証保険法第2条第3項第5号の規定にあたり、全国的な不況業種及び全国的に業況の悪化している業種の指定を受けることになる。この指定は3カ月に一度国が見直しを行うため、そのためのデータの提出などが義務付けられている。

この申請が認められると、申請者で

ある全宗協に加盟する会員企業ばかりでなく、宗教用具製造業全体に適用される。つまり、これは業界全体を救済する活動にもなるわけだ。

業界のリーダーたる全宗協では業界全体の活性化にも力を入れており、こうした観点からも今回の申請に踏み切った。

・・・事務局からのお知らせ・・・

新事務局長からのご挨拶

新年度の事務局長に就任した岩出孝弘です。前年度は都税事務所に勤務していました。

5月の1ヵ月間、前任の酒匂事務局長の指導の下で見習い期間を過ごさせてきましたので、おぼろげながら全宗協の歴史や当面の課題は一応理解したつもりでいます。

6月から本格的に仕事を開始したのですが、小堀理事長・西春専務理事・安田相談役を始め幹部の方々、そして事務局の増川先輩の指導の下で、全宗協の活性化に微力を発揮したいと願っております。

趣味は、畑仕事・テニス・スキー・ゴルフなど体を動かすことですが、今後は、仏教の勉強もしなくてはと心を引き締めています。

皆様、末永くお付き合いくださいますようよろしくお願いします。

「こんな仏壇あったらいいコンテスト2008」「全国おぶつだん俳句コンテスト」リンク張のお願い

事務局では「こんな仏壇あったらいいコンテスト2008」と「全国おぶつだん俳句コンテスト」の独自ドメインを取得しています。これに伴い、従来の全宗協のウェブサイトのみならず、この2つのウェブサイトにも組合員の皆様のホームページとのリンクをお願いいたします。

また、これとは別に引き続き全宗協ホームページの「加盟店紹介」お店紹介ページの製作を承ります。希望される方は事務局までご連絡ください。

ご負担額は1ページ当たり10,000円（税別）です。お店紹介ページの内容は①企業名、②企業紹介文、③画像（店舗概観や商品、店内の写真など2枚まで）、④主な取扱商品、⑤営業時間・定休日、⑥住所・電話番号・FAX番号、⑦メールアドレスなどです。

無料法律相談

顧問弁護士が組合員からの電話、あるいはFAXによる無料法律相談に応じます。ご希望の方は下記へ直接ご連絡ください。



森 恕顧問弁護士

森・吉村法律事務所

弁護士 森 恕（はかる）

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋1-5-14
メゾンドール高麗橋605

TEL 06-6222-3700 FAX 06-6232-0200

新規加入（2月～5月分）

●横江功好

（有）金横江仏具店
愛知県豊橋市新本町134

●萩原敦夫

（有）大串
栃木県佐野市田沼町636

●斧宏次

（株）おの佛宝堂
奈良県北葛城郡広陵町馬見北4-15-10

計 報

地区 ご逝去

組合員名 ご逝去日 享年

東海 ご本人 鉦吉様

（有）神野栄吉商店・神野鉦吉
20年4月20日 享年79歳

東海 ご母堂はる子様

（株）浄華・河田栄治
20年5月17日 享年94歳

京滋 ご母堂 きぬ様

（株）土屋念珠店・土屋善弘
20年5月19日 享年96歳

(株)小長井仏具本店
(静岡県静岡市)
小長井由朗



ひ・ろ・こ
COMMUNICATION
COLUMN

東京国立博物館に於いて、3月25日から開催された「平成遷都1300年記念 国宝薬師寺展」では、開幕から60日目にして入場者が60万人を突破したそうです。また、6月14日から奈良国立博物館で開かれる「国宝 法隆寺金堂展」では、日本最古とされる四天王立像4体（国宝、飛鳥時代）が、初めて寺外でそろってお披露目されるということです。これまた多くの方が詰めかけることでしょう。規模は違いますが、昨年暮れから3月末まで私の地元にあります静岡県立美術館に於いて「ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡展」が開催され、7万人を超える入場者がありました。

各地で仏教美術に関する特別展が目白押しで、大変な数の入場者を集めています。仏教美術に関心を持つ方がこんなにも多いのかと本当に驚かされます。

さて、私も先の「ガンダーラ美術とバーミヤン遺跡展」に行ってきました。仏像発祥の地といわれるガンダーラとは、現在のパキスタン北西部とアフガニスタン東部周辺にあたります。今回は初の一般公開となるものが多数出品されました。ギリシャ的なイメージを持ち、なおかつ繊細に表現された仏陀像、菩薩像など、これらの仏像が長い時間と道のりを経て東の果ての島国に伝えられたことを考えると本当にロマンをかきたてられました。

カルチャーとしての仏教美術だけではなく、その「教え」が伝えられ花開いたことが日本を独立した文明国たらしめていることに、あらためて感謝しなければならない時期がきているような気がします。

(有)川本商店
(東京都港区)
川本恭央



ニューリーダー
NL 交差点

ニューリーダー部の目的は、NL部規約第1条の目的『ニューリーダー部は全日本宗教用具協同組合の定款第1条の目的（本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な共同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進、かつ、その経済的な地位の向上を図ることを目的とする。）達成のために協力すると共に、部員個々の資質の向上を図り、その事業を通じて本組合の属する業界の正しい発展と国家社会に奉仕することを目的とする。』です。つまり、①親組合活動成功のための補完事業、先般開催の仏壇コンテスト当日の実働部隊等、②部員の資質の向上、活動を通して会員一人ひとりが宗教用具を扱うにふさわしい経済人、人格者になることであります。

そして、私が個人的に思うことは、しがらみの無いこの時に、夢を語り、悩みを打ち明け、成功や失敗を共有することにより生業や利害関係を越えた友情を構築し、その絆を基に親組合の1員となり、責任ある1票を持って発言行動することが、第1条の文末に記載されている『業界の正しい発展と国家社会に奉仕する』を達成することになります。NL部の活動はこのための過程であります。

組合、業界、国家のために身を使えることに感謝し、微力ではありますが精一杯動きます。宜しくお願いいたします。

そよ風

亡き父の思い出を胸に 愛される店作りに励む

高口仏具店（福岡県大牟田市）
高口ツヤ子



私の住む大牟田市は、東は三池山、西は有明の海に抱かれた福岡県南端の工業都市であります。この土地で祖父母が仏壇店を開業して85年、家族一丸となり店の存続を願い奮闘努力の日々を過ごしています。昨年父が亡くなり、私が店を継ぐことになりましたが、頼りない大黒柱、重圧と加齢で身が縮んだようです。

父は多趣味で若いころは一眼レフカメラを愛用し、夕食後に室と箔押し場を使い、現像と焼付けを一緒にしたこと

が思い出されます。人一倍口下手でしたが、とても手先が器用で、塗り・箔押しなどが上手な人でした。築60年以上経つ我が家の座敷の天井・柱・床を漆で塗り上げ、天井は今も現役で、拭けば艶が出て座っている私達家族を映してくれます。改築前は風呂・トイレ周りも漆塗りでした。そういう環境の中で育ったことが、いまだに私が塗り仏壇の漆に拘り続けている所以であるかなと思います。

炭鉱閉山以降、元気がなくなったこの土地での誘客は難しく、どうすれば繁盛に結びつくかがいまだに分からず、不安な気持ちですが、皆様に手を合わせていただく品を生業としていくことは、とても光栄なことだと思っています。それに加えて、具足も奥義を究めれば芸術作品です。仏壇の小型化、低価格など難問多しであります。人生思い通りにはならないし、思いもしないことが起こるけれど、人様との出遭いを大切に生か

されている今に感謝し、皆様のご指導をいただきながら、女性ならではの気配りと優しさを感じていただける店作りに励みたいと思います。

編集後記

今回の会報は通常総会の模様を中心に伝えました。次号は秋の研修会がメインの記事を飾ります。

皆様のご意見などもぜひお聞かせください。